

一般社団法人日本生物物理学会

第 55 回(2017 年度)年会のご案内

The 55th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan

一般社団法人 日本生物物理学会会員の皆様

今年の日本生物物理学会年会は、熊本県熊本市で開催されます。本年の年会実行委員長は熊本大学の山縣 ゆり子教授で、会期は9月19日(火)～21日(木)の3日間、熊本大学黒髪北地区にて開催されます。多くのシンポジウムやランチョンセミナーが企画されており、会員総会でのシンポジウムも行われます。また、昨年から開始いたしました学会のグローバル化のための企画として、今年は台湾、インドのそれぞれの生物物理学会との二国間合同シンポジウムも開催される予定です。さらに、今後の本学会を牽引すべき若手研究者や学生会員の研究活動を奨励するため、昨年からはじめました若手招待講演賞および学生発表賞も継続します。男女共同参画に関する企画も予定しております。

つきましては、次ページ以降の参加案内をご覧ください。会員相互の研究発表、情報交換等の場として、また企業展示会場における新製品などの情報入手の場として、多数の会員の皆様の参加を期待しています。

2017 年 4 月

一般社団法人日本生物物理学会

会長 中村 春木

目次

I. 概要	2
II. プログラム	4
III. 参加申し込み	5
IV. 発表申し込み	7
V. 分野別専門委員の推薦	8
VI. 日本生物物理学会若手奨励賞および若手招待講演賞	8
VII. 日本生物物理学会学生発表賞	10
VIII. シンポジウム一覧(順不同)	11
表 1. 年会発表分類表	16
表 2. 分野別キーワード(平成 29 年度)	17
諸費用郵便払込取扱票記入ガイド	19

◎法人化に伴い、各種委員会等の名称が以下のとおり変更となりました。

運営委員会	→	理事会
新旧合同委員会	→	臨時社員総会
総会	→	会員総会

第 55 回(2017 年度)日本生物物理学会年会のご案内

The 55th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan

第 55 回年会実行委員長

山縣 ゆり子 (熊本大学大学院生命科学研究部)

第 55 回年会を熊本大学黒髪北地区にて開催いたします。皆様のご参加と一般発表を募集いたしますので、下記要領によりお申し込みください。最新情報は年会ウェブサイト (<http://www.aeplan.co.jp/bsj2017/>) をご覧ください。またすべての発表の言語は原則として英語を使用します。

1. 概要

1. **会期** : 2017 年 9 月 19 日 (火) - 21 日 (木)

2. **会場** : 熊本大学 黒髪北地区 (〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 40 番 1 号)

3. **プログラム** : シンポジウム, 一般発表 (口頭発表、ポスター), 会員総会・総会シンポジウム, 若手奨励賞招待講演, 学生発表賞選考口頭発表, BPPB 論文賞受賞講演, 男女共同参画・若手支援シンポジウム, キャリア支援説明会, 科研費説明会, ランチョンセミナー, 機器・試薬・書籍展示, など

4. **参加申し込み** : 事前参加登録と当日参加登録があります。事前参加登録は年会ウェブサイトから事前参加登録期間内 (2017 年 4 月 27 日 (木) ~ 6 月 23 日 (金)) に行ってください。

5. **一般発表申し込み** : 一般発表は口頭発表またはポスターで行います。年会ウェブサイトより, 一般発表申し込み期間内 (2017 年 4 月 27 日 (木) ~ 5 月 26 日 (金)) に発表登録と予稿の提出を行ってください。締切以降は申し込み及び修正を受け付けません。なお, すべての発表は原則として英語です。

6. **懇親会** : 2017 年 9 月 20 日 (水) 19:30~21:30 に, ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて行います。(〒860-8575 熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地 TEL. 096-354-2111)
年会ウェブサイトより, 事前に参加申し込みができます。

7. **託児室** : 年会参加者のお子様を対象に, 年会開催期間中, 託児室 (利用料金無料) を設置いたします。

【開設日時】 2017 年 9 月 19 日 (火) 8:45~18:15, 20 日 (水) 8:30~18:45, 21 日 (木) 8:45~15:00

【場所】 セキュリティ確保の為, お申込者のみにご案内いたします。

【対象年齢】 概ね 6 か月 ~ 小学生まで

【申込み方法】 1) 委託先は “NPO 法人チャイルドケアサポートみるく” です。年会ウェブサイトより “託児のご案内” をダウンロードの上, 案内に従って直接, 委託先へ E-mail にてお申込みください。2) 委託先では, お申込みを受領後, 申込みの確認と必要事項をメールにて連絡いたします。

npomilk2@cream.plala.or.jp からのメールを受信できるよう, 設定をお願いいたします。

【申込締切】 2017 年 9 月 11 日 (月)

※完全予約制となっておりますので, ご予約のない場合にはご利用いただけない場合がございます。

委託先 : NPO 法人チャイルドケアサポートみるく TEL : 096-351-8825 (平日 9:00~17:00)

なお, 不測の事故に対応するために委託先が保険に加入しており, 保険適用範囲で補償いたします。また, 日本生物物理学会, 第 55 回日本生物物理学会年会実行委員会および第 55 回日本生物物理学会年会運営会社は, 事故の責任は負わないことを申し添えます。

8. 宿泊予約：宿泊について、年会ウェブサイト中のリンクからオンライン予約が可能です。

予約の受付は 5 月中旬に開始する予定です。オンライン予約を利用されない場合も、お早めにご手配することを推奨いたします。

9. 市民講演会：高校生，大学生，一般市民を対象とした講演会を 9 月 18 日（月・祝日）にくまもと県民交流館パレヤにて開催いたします。講演は日本語で行います。詳細は年会ウェブサイトにてご確認ください。

10. 年会実行委員会

実行委員長：山縣ゆり子（熊本大学大学院生命科学研究部）

実 行 委 員：（五十音順）

秋山 良	（九州大学大学院理学院理学研究院）	武田 光広	（熊本大学大学院生命科学研究部）
池水 信二	（熊本大学大学院生命科学研究部）	谷川 雅人	（大分大学医学部）
井原 敏博	（熊本大学大学院先端科学研究部）	池鯉鮒麻美	（熊本大学薬学部）
入佐 正幸	（九州工業大学情報工学部）	寺沢 宏明	（熊本大学大学院生命科学研究部）
角田 佳充	（九州大学大学院農学研究院）	中村 照也	（熊本大学大学院先端機構）
木戸秋 悟	（九州大学先端物質化学研究所）	西本 悦子	（九州大学大学院農学研究院）
神田 大輔	（九州大学生体防御医学研究所）	野坂 通子	（佐世保工業高等専門学校物質工学科）
郷田秀一郎	（長崎大学大学院工学研究科）	前多 裕介	（九州大学大学院理学院理学研究院）
小橋川敬博	（熊本大学大学院生命科学研究部）	森岡 弘志	（熊本大学大学院生命科学研究部）
小松 英幸	（九州工業大学情報工学部）	森本 雄祐	（九州工業大学大学院情報工学研究院）
佐藤 恭介	（熊本大学大学院生命科学研究部）	安永 卓生	（九州工業大学大学院情報工学研究院）
佐藤 卓史	（熊本大学大学院生命科学研究部）	山本 大輔	（福岡大学理学部）
塩谷 孝夫	（佐賀大学医学部）	吉田 紀生	（九州大学大学院理学院理学研究院）
嶋田 睦	（九州大学生体防御医学研究所）	吉永 壮佐	（熊本大学大学院生命科学研究部）
高崎 寛子	（九州工業大学大学院情報工学研究院）		

第 55 回年会実行委員会連絡先 E-mail: bp_nenkai55@kumamoto-u.ac.jp

11. 年会オンライン登録システムサポートデスク

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る

中西印刷株式会社内 TEL：075-415-3661

E-mail: bsj2017sys-sprt@e-naf.jp

※可能な限りメールでお問い合わせください。

12. 年会実行委員会サポート・展示・広告問い合わせ先

第 55 回日本生物物理学会年会 実行委員会サポート

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6F

株式会社エー・イー企画内 TEL：06-6350-7163

E-mail 広告・展示のお問合せ：e_jbp55@aeplan.co.jp

E-mail 上記以外のお問合せ：jbp2017@aeplan.co.jp

II. プログラム

プログラム集 (前付, シンポジウム・一般発表目次) : 日本生物物理学会会員に事前送付いたします。プログラム (講演タイトル, 発表者, 所属の詳細) はプログラム集発行日以後に, 年会ウェブサイトにて公開します。

年会予稿集 : オンライン化し冊子体は制作いたしません。予稿本文はプログラム集発行日頃に, オンライン上のダウンロードシステムより閲覧してご利用いただくことになります。

予稿本文の公開 : 年会終了後は, 半年ほど経て日本生物物理学会ウェブサイトの年会の記録にて予稿集の pdf ファイルが公開されます。

日本生物物理学会ウェブサイトの年会の記録(<http://www.biophys.jp/ann/ann02.html>)

1. 年会日程表 (予定) : 最新日程およびプログラムはプログラム集および年会ウェブサイトをご覧ください。

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
9月18日 (月)								市民講演会 くまもと県民交流館パレ 14:00-16:00					
9月19日 (火)			若手奨励賞招待講演・シンポジウム 9:00-11:30(2.5h)		ランチョンセミナー 11:50-12:40	Biophysics and Physiology 若手奨励賞発表 12:50-13:20	シンポジウム・一般口頭発表 13:20-15:50(2.5h)						
							キャリア支援説明会 13:20-16:20						
		貼付 8:45-9:30	ポスター展示 9:30-16:00							ポスター討論 16:00-18:00	撤去		
			機器・試薬・書籍展示 9:30-18:00										
9月20日 (水)				Biophysics and Physiology 編集委員会 10:50-11:50	第2回理事会 11:50-12:40					若手賞 選考委員会 16:00-17:00			
			シンポジウム 8:45-11:15(2.5h)		ランチョンセミナー 11:30-12:20		シンポジウム・一般口頭発表 13:55-16:25(2.5h)						
					会員総会・ 総会シンポジウム 11:30-12:20								
			キャリア支援説明会 9:00-18:00										
		貼付 8:30-9:30	ポスター展示 9:30-16:30							ポスター討論 16:30-18:30	撤去		
			機器・試薬・書籍展示 9:30-18:30										
9月21日 (木)			シンポジウム 9:00-11:30 (2.5h)		ランチョンセミナー 11:45-12:35								
		貼付 8:45-9:30	ポスター展示 9:30-12:45				ポスター討論 12:45-14:45	撤去					
			機器・試薬・書籍展示 9:30-14:45										
			企業との意見交換会 9:30-11:00		科研費説明会 12:15-13:05								

懇親会
(ANAクラウンプラ
ザホテル熊本ニュー
スカイ)
19:30-
21:30

2. シンポジウム : 44 件のシンポジウムを企画しています。シンポジウムのテーマは「VIII. シンポジウム一覧」をご覧ください。

3. 一般発表 : 一般発表は口頭またはポスターで行います。詳細は年会ホームページで公開いたします。

4. 若手奨励賞と若手招待講演賞 : 年会において生物物理学の発展に貢献しうる若手会員の優秀な発表に対し, 「日本生物物理学会若手奨励賞」あるいは「日本生物物理学会若手招待講演賞」を授与します。これらの賞の選考のための招待講演を初日午前に行います。応募方法は, 「VI. 日本生物物理学会若手奨励賞および若手招待講演賞」をご覧ください。

5. **学生発表賞**：年会において優秀な発表を行った学生会員に対し、「日本生物物理学会学生発表賞」を授与します。本年は応募した学生会員による一般口頭発表を審査し、受賞者を決定します。応募・選考方法は、「Ⅶ. 日本生物物理学会学生発表賞」をご覧ください。
6. **会員総会・総会シンポジウム**：2日目の昼に、全会員を対象とする総会を行い、引き続き同じ会場で、生物物理学の主題に関わるシンポジウムを講演会形式で開催します。
7. **男女共同参画・若手支援シンポジウム**：2日目の昼に、男女共同参画をテーマにした男女共同参画・若手支援委員会主催のシンポジウムを行います。昼食（弁当とお茶）が無料で提供されます。
8. **キャリア支援説明会**：企業での活躍をお考えの会員を対象として、企業活動を理解するための勉強会や企業の担当者を招致した交流会を開催する予定です。
9. **ランチョンセミナー**：会期中の昼食時に、セミナー参加企業が最新の技術や解析方法の解説、紹介を行います。昼食（弁当とお茶）が無料で提供されます。
10. **付設展示会**：機器、試薬、ソフトウェア、書籍などの企業展示を行います。

Ⅲ. 参加申し込み

1. 事前参加登録受付期間（年会諸費用 受付期間）

2017年4月27日（木）～6月23日（金）

2. 会員の事前参加登録

- ・事前参加登録を希望される方は、年会ウェブサイトから「オンライン登録」を行ってください。続いて年会諸費用（参加費・懇親会費）を納入ください。年会諸費用の入金確認をもって、事前参加登録の完了となります。受付期間を過ぎますと事前価格が適用されませんので、必ず年会諸費用受付期間中（6月23日（金）まで）にご納入ください。
- ・事前参加登録を完了されても、事前参加登録受付期間内に日本生物物理学会会員の当年度会費の入金確認ができない場合、年会諸費用は非会員価格が適用されます。
- ・入会予定者は、事前参加登録を行う前に入会手続きを完了してください。入会手続きに関する詳細は、日本生物物理学会ウェブサイト（<http://www.biophys.jp/>）をご参照ください。
- ・事前参加登録をしていただくと、参加証、プログラム集（オンライン情報（予稿本文）付）を事前送付いたします。
- ・大学学部生（会員）の参加方法は、「4. 学部学生の参加」をご覧ください。
- ・「平成28年熊本地震」で被災された研究機関所属学生会員の事前登録参加費免除については、日本生物物理学会ウェブサイト（http://www.biophys.jp/topnews/sinsai_menjo_k.html）をご覧ください。

3. 非会員の事前参加登録

- ・シンポジウムで発表を行う非会員は、年会参加費・懇親会費を免除いたします。ただし、事前参加登録は必要ですので、「オンライン登録」を行ってください。
- ・参加のみをご希望の非会員の方も、年会ウェブサイトの「オンライン登録」から事前参加登録を行っていただけます。年会参加に興味のある方がいらっしゃいましたら、事前参加登録をご案内ください。
- ・日本物理学会会員、オーストラリア生物物理学会会員および日本顕微鏡学会会員は日本生物物理学会会員と同等の資格で第55回年会へ参加、および発表ができます。年会諸費用には会員価格が適用されます。

- ・ 事前参加登録をしていただくと、参加証、プログラム集（オンライン情報（予稿本文）付）を事前送付いたします。
- ・ 大学学部生（非会員）の参加方法は、「4. 学部学生の参加」をご覧ください。

4. 学部学生の参加

- ・ 一般発表をする学部学生は、事前参加登録（オンライン登録と学生会員参加費 3,500 円の納入）が必要です。オンライン登録後に学生証のコピーを参加登録・演題登録システムサポートデスク（中西印刷株式会社、FAX：075-415-3662 または E-mail：bsj2017sys-sprt@e-naf.jp）宛にお送りください。お送りいただいた方で参加費の入金が確認できた方には、参加証、プログラム集（オンライン情報（予稿本文）付）を事前送付いたします。メールの件名は「学生証の送付」としてください。FAX で提出される場合は、「第 55 回日本生物物理学会年会」「参加受付番号」の情報とともに送信ください（6 月 23 日（金）まで）。
- ・ 参加のみをご希望の学部学生（会員、非会員）は、年会参加費を無料とします。
事前参加登録の場合、オンライン登録後に学生証などのコピーを参加登録・演題登録システムサポートデスク（中西印刷株式会社、FAX：075-415-3662 または E-mail：bsj2017sys-sprt@e-naf.jp）宛にお送りください。お送りいただいた方には、参加証、プログラム集（オンライン情報（予稿本文）付）を事前送付いたします。メールの件名は「学生証の送付」としてください。FAX で提出される場合は、「第 55 回日本生物物理学会年会」「参加受付番号」の情報とともに送信ください（6 月 23 日（金）まで）。
当日参加の場合は年会当日に受付にて、学部学生であることを証明する学生証などを提示し、参加証及びプログラム集をお受け取りください。
- ・ 発表の有無に関わらず、懇親会への参加には懇親会費が必要です。

5. 年会諸費用

費目		会員			非会員		
		正会員	学生会員 シニア会員	学部学生	一般	大学院生	学部学生
年会 参加費	事前価格	¥ 7,000	¥ 3,500	¥ 0	¥10,000	¥ 5,000	¥ 0
	当日価格	¥ 9,000	¥ 5,000	¥ 0	¥12,000	¥ 6,000	¥ 0
懇親会費	事前価格	¥ 7,000	¥ 4,000	¥ 3,000	¥ 7,000	¥ 4,000	¥ 3,000
	当日価格	¥ 8,000	¥ 5,000	¥ 3,000	¥ 8,000	¥ 5,000	¥ 3,000

注) 学部学生が一般発表をする場合には、学生会員の参加費が必要です。

注) 日本生物物理学会会員の「年度会費」と第 55 回年会諸費用（参加費・懇親会費）の送金先は異なります。お間違いにならないようご注意ください。

- ・ 年会諸費用（参加費、懇親会費）

事前のお支払いは、郵便振込※1 またはクレジットカード※2 でお願いします。

※1：本年会は、参加費払込取扱票を郵送しておりません。

郵便局備え付けの払込取扱票（青色）をご利用ください（18 頁の記入ガイドをご参照ください）。

郵便振替口座：00930-8-195641

加 入 者 名：日本生物物理学会 第 55 回年会実行委員会

※2：クレジットカード払いは、年会ウェブサイト「オンライン登録」よりご利用いただけます。

6. 参加証・プログラム集・オンラインアクセス情報の事前配布

・年会予稿集は冊子体で制作せず、プログラム集（前付、シンポジウム・一般発表目次）を冊子体で配布しております。予稿本文はオンライン上のダウンロードシステムより閲覧していただくことになります。

[会 員] 事前参加登録期間内に年会諸費用の入金確認がとれた日本生物物理学会会員に対して会期前に参加証を送付します。プログラム集およびオンラインアクセス情報は日本生物物理学会当年度会費を入金された方全員にお送りします。

[非会員] 事前参加登録期間内に年会諸費用の入金確認がとれた非会員に対して会期前に参加証・プログラム集およびオンラインアクセス情報を送付します。

- ・参加証は、年会当日、必ずお持ちください。会期中、参加証を着用していないと会場に入れません。
- ・プログラム集は、年会期間中に会場でも販売（3,500円/1部）します。
- ・オンライン情報提供は、(1)プログラム、(2)予稿本文ダウンロード、(3)プログラム検索・要旨閲覧アプリです。

7. 参加登録内容の確認・修正・取消

事前参加登録受付期間内であれば、登録内容の確認・修正・取消は、申込者ご自身で行っていただけます。手続きの詳細は年会ウェブサイトにてご確認ください。ただし、受付期間を過ぎての修正・取消については、一切応じられません。

IV. 発表申し込み

1. 発表登録受付期間

2017年4月27日（木）～5月26日（金）18時まで

2. 発表申し込み資格

一般発表の発表代表者は、日本生物物理学会会員に限ります。日本国内の組織に籍があつて本学会の会員でない方は、日本生物物理学会ウェブサイト (<http://www.biophys.jp>) から入会の手続きをお済ませください。ただし、日本国外の組織に籍がある国外からの参加者は、本学会の会員でなくても一般発表の発表代表者になれます。この場合、参加費は学会員に準じます。

シンポジウムの発表代表者も本学会の会員でなくても構いません。発表代表者になるのは、一人1演題に限ります。ただし、一般発表とシンポジウム発表で2演題になることは構いません。ランチョンセミナーでの講演は発表演題数には含まれません。

また、日本物理学会会員、オーストラリア生物物理学会会員および日本顕微鏡学会会員は日本生物物理学会会員と同等の資格で第55回年会へ参加、および発表ができます。年会諸費用には会員価格が適用されます。

3. 発表登録

発表登録を希望される方は、年会ウェブサイトから「オンライン登録」を行ってください。一般発表はポスターもしくは口頭発表にて行います。締切直前はアクセスが集中し、登録がスムーズに進まない状況が予想されます。早めのご登録をお願いします。英語タイトルと英語予稿は必須ですが、分野外の研究者のために日本語タイトルもできるだけ記入してください。

4. 発表登録内容の確認・修正・取消

発表登録受付期間内であれば、登録内容の確認・修正・取消は、申込者ご自身で行っていただけます。

手続きの詳細は年会ウェブサイトにてご確認ください。ただし、受付期間を過ぎての修正・取消については、一切応じられません。

5. シンポジウム・一般口頭発表等での発表要項

発表者ご自身のコンピュータを持参し、プロジェクターを使ったプレゼンテーションをお願いいたします。発表は原則として英語とし、スライドも英語で作成してください。ただし、分野外の研究者の理解を助けるために、専門用語の日本語表記を併記するなどの工夫は構いません。発表要領の詳細はプログラム集および年会ウェブサイトにてご案内いたします。

6. ポスター発表要項

ポスターはすべて英語で作成してください。ただし、タイトル、所属、発表者名は日本語も併記してください。必要に応じて、要旨や専門用語などを日本語併記にしても構いません。ポスターは会期中毎日貼り替え制となります。発表要領の詳細はプログラム集および年会ウェブサイトにてご案内いたします。

V. 分野別専門委員の推薦

本学会会員の方は、少なくとも一人の分野別専門委員（平成 29 年度分）を推薦していただくことになっています。これは本年会で発表するかしないか、あるいは参加するかしないかに依存しません。平成 29 年度の「分野別キーワード」を 16 頁 表 2 に掲載しています。

1. 推薦方法

本年会に参加される方は、事前参加の「オンライン登録」内で推薦することができます。

本年会に参加されない方は、次の要領にしたがってメールで推薦してください。

メール本文には余計な文章を加えずに、次の 6 行の内容を書いたメールを事務局 (E-mail: bsj@nacos.com) へお送りください。件名は「分野別専門委員の推薦」としてください。“/” は半角です。推薦期間は 2017 年 4 月 27 日（木）～6 月 23 日（金）とします。締切後、一括して処理をするときに、推薦者および被推薦者が本学会会員であることと、複数回のメールを送っていないことをチェックします。

推薦者のお名前/会員番号/推薦者の所属/推薦者のメールアドレス 分野別キーワード 1/推薦する分野別専門委員の名前 1/所属 1 分野別キーワード 2/推薦する分野別専門委員の名前 2/所属 2 分野別キーワード 3/推薦する分野別専門委員の名前 3/所属 3 分野別キーワード 4/推薦する分野別専門委員の名前 4/所属 4 分野別キーワード 5/推薦する分野別専門委員の名前 5/所属 5

2. 分野別専門委員規定

規定については、日本生物物理学会ウェブサイト (<http://www.biophys.jp/org/org02.html>) の「分野別専門委員規定」をご覧ください。

VI. 日本生物物理学会若手奨励賞および若手招待講演賞

日本生物物理学会は、2005 年度より年会において生物物理学の発展に貢献しうる若手会員の特に優秀な一般発表に対し、「日本生物物理学会若手奨励賞」を授与しています。また、2016 年度より、若手会員の優秀な一般発表に対し「若手招待講演賞」も授与しています。本年も、大学院生、博士研究員、若手の助教など、多くの若手研究者の両賞への応募をお願いいたします。

1. 応募対象者：年会において、生物物理学の発展に貢献しうる一般演題を発表する優秀な本学会会員（入会手続き中を含む）であり、以下の条件を満たす者。

(1) 応募年の4月1日に35歳以下または学位取得後8年以内の者。出産や介護等の期間がある場合は、応募年の4月1日に37歳以下または学位取得後10年以内の者。

(2) 演題の筆頭著者として発表申し込みを行い、実際に発表する者。

(3) 過去に「日本生物物理学会若手奨励賞」あるいは「若手招待講演賞」を受賞している場合は、受賞内容に関する総説か原著論文を本学会欧文誌（Biophysics and Physicobiology）に掲載した上で、別内容の成果を発表する者。

賞の審査対象は、同年の年会に発表申し込みをされた一般演題の内容です。「若手奨励賞」あるいは「若手招待講演賞」を受賞した場合、原則2年以内に、受賞内容に関する総説か原著論文を本学会欧文誌（Biophysics and Physicobiology）に投稿いただくことが義務づけられています。学生会員の場合、「若手奨励賞」と「学生発表賞」の両方に応募することが可能です。若手奨励賞／若手招待講演賞に応募資格のある理事は、理事会における賞の選考過程に関わりません。

2. 申し込み手続き：「日本生物物理学会若手奨励賞」および「若手招待講演賞」への応募者は、一般発表の申し込み手続きの際に、応募フォームをもとに応募書類を作成し、pdfに変換した上で年会の演題登録サイトからアップロードしてください。応募は一人一件に限ります。学生会員で、若手奨励賞／若手招待講演賞と学生発表賞の両方に応募する場合、必ず学生発表賞の申し込み手続きも行ってください。若手招待講演者として選ばれた場合は、「学生発表賞」への応募は自動的にキャンセルされます。応募締め切り後、事務局から受け付け通知メールを送ります。締め切り後1週間を過ぎても通知メールが届かない場合は、事務局（bsj@nacos.com）までご連絡ください。

3. 研究分野

1. 蛋白質の構造と機能	2. 蛋白質の物性	3. 核酸	4. 細胞生物学的課題
5. 光生物	6. 筋肉	7. 分子モーター	8. 生体膜・人工膜
9. 生命情報科学	10. イメージング・計測	11. 脳・神経	12. その他

4. 選考：一次選考においては、若手奨励賞一次選考委員が、提出していただいた書類をもとに10名程度の候補者を選定します。候補者には「若手招待講演者」として、年会1日目の「若手招待講演シンポジウム」で口頭発表していただきます。招待講演者の発表は7月中旬に年会および学会ウェブサイトにて行います。二次選考においては、若手奨励賞二次選考委員によって「若手招待講演シンポジウム」における口頭発表が審査され、5名以内の「若手奨励賞」の受賞者を決定します。若手奨励賞に選ばれなかった招待講演者には、原則として「若手招待講演賞」を授与します。若手奨励賞一次選考委員、および、若手奨励賞二次選考委員は学生会員から選ばれ、日本生物物理学会理事会において決定されます。

5. 表彰：「日本生物物理学会若手奨励賞」の発表と表彰は年会の懇親会で行います。「若手招待講演者」については、年会の懇親会は招待とし、懇親会参加費をお返しします。受賞者には賞状と記念品を贈呈します。「日本生物物理学会若手奨励賞」「若手招待講演賞」の氏名と演題は、日本生物物理学会のウェブサイト上で公開します。

6. 申し込み期間：年会における演題登録と同期間で4月27日（木）から5月26日（金）までです。ただし、演題登録の締め切りを延長した場合は、若手奨励賞の申し込み期間も延長します。

VII. 日本生物物理学会学生発表賞

日本生物物理学会では、2016 年より「学生発表賞」を新しく設立し、年会において優れた発表を行った学生会員の積極的な表彰を行っています。学会発表を行う多くの学生会員の応募をお願いいたします。

1. **応募対象者**：年会において筆頭著者として演題登録を行い、実際に発表する学生会員（本学会への入会申し込み中も含む）。「学生発表賞」に応募した学生会員は、同演題で「若手奨励賞」にも応募することが可能です。
2. **申し込み手続き**：学生発表賞への応募者は、発表形態として必ず口頭発表を選び、演題申し込みを行ってください。さらに、演題申し込み手続き時に、応募フォームをもとに応募書類を作成し、pdf に変換した上で年会の演題登録サイトからアップロードしてください。応募は一人一件に限ります。学生発表賞と若手奨励賞／若手招待講演賞の両方に応募する場合、応募者情報の項目 1h に「若手奨励賞にも応募する」旨を明記してください。また、必ず若手奨励賞／若手招待講演賞の申し込み手続きも行ってください。若手招待講演者として選ばれた場合は、「学生発表賞」への応募は自動的にキャンセルされます。応募締め切り後、事務局から受け付け通知メールを送ります。締め切り後 1 週間を過ぎても通知メールが届かない場合は、事務局 (bsj@nacos.com) までご連絡ください。
3. **選考**：2017 年度は以下の手順で選考を行います。1) 学生発表賞への応募が多く、予定した口頭発表枠に入りきらない場合は、書類審査による予備選考を行い、口頭発表者を選ぶ可能性があります。予備選考を行った場合は、その結果を速やかに応募者個人に連絡します。2) 年会における口頭発表時に、審査員による審査を行います。審査員は応募書類、口頭発表内容、プレゼンテーションなどを総合的に審査します。3) 1) および 2) における審査委員は学会員から選ばれ、日本生物物理学会理事会にて決定されます。4) 学生発表賞の受賞者数は応募数の約 2～3 割を想定しています。
4. **表彰**：「日本生物物理学会学生発表賞」の受賞者の氏名は、年会における懇親会中に発表するほか、学会後に演題名と共に学会ウェブサイトにて発表します。受賞者には年会後に賞状を郵送します。
5. **申し込み期間**：年会における演題登録と同期間で 4 月 27 日（木）から 5 月 26 日（金）までです。ただし、演題登録の締め切りを延長した場合は、学生発表賞の申し込み期間も延長します。

Ⅷ. シンポジウム一覧（順不同）

Joint Symposium between Biophysics Society of R.O.C. and BSJ:

Towards tomorrow's structural biology

Organizers : Masaki Yamamoto (RIKEN) , Ping-Chiang Lyu (National Tsing Hua Univ.)

Joint Symposium between Indian Biophysics Society and BSJ:

Protein Biophysics: From Folding to Drug Discovery

Organizers : Akira R. Kinjo (Osaka Univ.) , Gautam Basu (Bose Institute, Kolkata)

生体膜模倣環境としての新しい界面活性剤, リポソーム, ナノディスクの利用

New detergents, liposomes, and nanodiscs as membrane-mimetic environments

オーガナイザー : 神田 大輔 (九大) , 塚崎 智也 (奈良先端大)

少数性の生命科学 : Minor 要素の振る舞いがシステム全体に影響を及ぼす思わぬ仕掛け

Minority in life science: An unexpected trick by the action of minor elements that affect the whole system.

オーガナイザー : 永井 健治 (阪大) , 上田 泰己 (東大/理研)

「流れ」から解き明かす生き物の時空間パターン : タンパク質から集団運動まで

Ta Panta rhei: Spatiotemporal dynamics of flow-related biological patterns

オーガナイザー : 鹿毛 あずさ (東北大) , 鳥澤 嵩征 (情報通信研究機構)

溶液中における蛋白質複合体のダイナミクス解析

Analysis of Protein Dynamics in Solution

オーガナイザー : 小川 寛之 (東大) 有坂 文雄 (日大)

環境効果の分子レベル解析に基づくタンパク質の構造・機能チューニング

Molecular-Level Analysis of Environment Effect toward Tuning of Protein Structure and Function

オーガナイザー : 吉村 成弘 (京大) , 松林 伸幸 (阪大)

いろんなスケールで働く膜タンパク質の作動原理 : 実験と理論の新展開

Operating principles of membrane proteins at multiscale resolutions

オーガナイザー : 岡崎 圭一 (分子研) , 渡邊 力也 (東大)

多角的な視点で読み解く膜デバイスの基本原理と新しい機能解析技術

Multiple aspects to understand mechanisms of membrane proteins as devices and novel approaches to dissect biomolecules

オーガナイザー：西坂 崇之（学習院大），小嶋 誠司（名大）

ハイパフォーマンス・コンピューティング(HPC)による次世代創薬計算技術

Next-generation in-silico drug discovery using high-performance computing

オーガナイザー：荒木 望嗣（京大），池口 満徳（横浜市大）

自己複製系の新展開：創発と合成の邂逅

Frontiers in self-replicating systems: Emergence and synthesis

オーガナイザー：前多 裕介（九大），下林 俊典（海洋機構）

秩序が作る動きと動きが作る秩序

Dynamical ordering of biomolecular systems for creation of integrated functions: Dynamics Made of Ordering and Ordering Made from Dynamics

オーガナイザー：秋山 良（九大），佐藤 啓文（京大）

ゲノム機能制御の多階層的理解～クロマチンの分子構造から核内動態まで～

Understanding genomic functions in multiscale from chromatin structure to intranuclear dynamics

オーガナイザー：日比野 佳代（遺伝研/総研大），落合 博（広島大）

生体高分子の広帯域の動的相関構造解析を目指した実験的手法と計算科学の新展開

New approaches of integrated use of experimental and simulation methods for dynamic correlative structural analysis of biomolecules in the wide spatiotemporal scale

オーガナイザー：杉山 正明（京大），中川 洋（原子力機構）

光散乱・吸収を用いた顕微鏡で探る生体情報

Biological information probed by optical microscopes using scattering and absorption

オーガナイザー：市村 垂生（理研），藤田 克昌（阪大）

生体分子におけるケト-エノール互変異性

Keto-enol tautomerism in biomolecules

オーガナイザー：岩田 達也（東邦大），伊藤 奨太（名工大）

生体分子活性サイトの構造機能相関解明への新規アプローチ

Novel approaches to elucidating the structure-function relationship of the active sites in biomolecular systems

オーガナイザー：佐藤 文菜（自治医大），木村 哲就（神戸大）

実験と理論計算で明らかになってきた細胞環境での蛋白質間相互作用

Experimental and Computational Analysis on Protein-Protein Interactions in Cellular Environments

オーガナイザー：杉田 有治（理研），津本 浩平（東大）

メカノバイオロジー研究の最先端と多様性

International symposium on mechanobiology with its cutting edge and diversity

オーガナイザー：新井 敏（早大），林 久美子（東北大）

実験・シミュレーション・データ科学の融合による遺伝情報分子システムの生物物理

Biophysics of genetic information molecules and systems : Integrated approach of experiments, simulations, and data science

オーガナイザー：高田 彰二（京大），笹井 理生（名大）

ナノ計測技術とバイオイメージングの融合が開く単一細胞計測の新展開

Advanced single cell analysis by fusion of nano-characterization technology and bioimaging

オーガナイザー：高橋 康史（金沢大），樫田 啓（名大）

生物学における数の数理：少数の分子が如何にして機能の頑健性を産み出しているのか？

Number in biology: deciphering how small number of molecules solve robustness of biological functions

オーガナイザー：小松崎 民樹（北大），黒田 真也（東大）

分子集合と生体膜の生物物理学

Biophysics of molecular assembly and biological membrane

オーガナイザー：末次 志郎（奈良先端大），嶋田 睦（九大）

生物時計の24時間リズム創出原理に関するマジ（めな）議論

Molecular, Structural, and Dynamic Origins of 24-hour Period in Circadian Clock Systems

オーガナイザー：秋山 修志（分子研），八木田 和弘（京都府立医大）

高分子混雑が支配する細胞の世界

Macromolecular crowding shapes the world of cells

オーガナイザー：柳澤 実穂（東京農工大），優 乙石（理研）

新機能分子系を創出してきた地球生物進化と試験管内進化の対話

Dialogue between in vitro evolution and biological evolution, both of which have created new functional biomolecules

オーガナイザー：根本 直人（埼玉大），赤沼 哲史（早大）

構造生物学研究ツールの進展～どう使い分けるか？～

Tools in a new epoch for structural biology. ~How to use them properly?~

オーガナイザー：岩崎 憲治（阪大），Florence Tama（名大）

X線と中性子の連携利用による高分解能／高精度タンパク質結晶学

High-resolution and High-precision Protein Crystallography by Combined Use of X-ray and Neutron Diffraction

オーガナイザー：玉田 太郎（量研機構），三木 邦夫（京大）

量子ビーム技術を活用した放射線生物物理学の最前線

Frontiers in radiation biophysics utilizing quantum beam technologies

オーガナイザー：富田 雅典（電中研），中島 徹夫（量研機構）

糖および脂質の生物物理—医薬への展開—

Biophysics on saccharides and lipids toward medicine

オーガナイザー：松本 陽子（崇城大），相田 美砂子（広島大）

ATP をエネルギー源とする生物装置の構造、機能、および ATPase による動力発生機構

ATP energized biological machines: their structure, function and force generation mechanism coupled with ATPase

オーガナイザー：加藤 博章（京大），前田 雄一郎（名大）

刺激に応答するタンパク質の構造生物学

Structural biology of proteins mediating stimulus-response

オーガナイザー：中川 敦史（阪大），神取 秀樹（名工大）

メカニカルコミュニケーションが生み出す生体運動の多様性

Diversity of biological motility generated by mechanical communications

オーガナイザー：宮田 真人（大阪市大），今田 勝巳（阪大）

Membrane Bioenergetics の新地平：光子から超複合体まで

Frontiers in Membrane Bioenergetics: from photon to supercomplex.

オーガナイザー：Christoph Gerle（兵庫県立大），阿部 一啓（名大）

若手研究者が考えるバイオイメーjingとその応用

Happy Hacking imaging for biology by early carriers

オーガナイザー：鳥羽 栞（弘前医療福祉大），新井 由之（阪大）

メカノバイオロジーを開拓するメソドロジーの新展開

Development of methodology to explore the mechanobiology

オーガナイザー：木戸秋 悟（九大），曾我部 正博（名大）

さまざまな環境下で発現される生体分子の柔らかさと機能

Softness and functions of biological molecules under various environments

オーガナイザー：高橋 聡（東北大），飯野 亮太（分子研）

動的不均一性がもたらす多細胞社会の秩序形成

Order from dynamic heterogeneity in multicellular systems

オーガナイザー：柴田 達夫（理研），松崎 文雄（理研）

原生生物の行動

Protista behaviors

オーガナイザー：園部 誠司（兵庫県立大），市川 正敏（京大）

疾患関連タンパク質の生物物理学とその医学・薬学への応用

Biophysical approach on disease-related proteins toward application for medical and pharmaceutical sciences

オーガナイザー：濱田 大三（神戸大），李 映昊（阪大）

金属酵素の反応機構を理解するための多様な生物無機化学的アプローチ

Bioinorganic Approaches for Understanding Reaction Mechanisms of Metalloproteins

オーガナイザー：舩橋 靖博（阪大），柳澤 幸子（兵庫県立大）

温度と生物の接点

Tackling the Mystery of Thermal Biology

オーガナイザー：岡部 弘基（東大），梅田 真郷（京大）

データ駆動科学が拓く新しい生命計測データ解析

Data-driven science opens up a new field in biological measurements

オーガナイザー：木川 隆則（理研），池谷 鉄兵（首都大）

構造生命科学の新しい潮流

New trends for Structural Life Science

オーガナイザー：清水 敏之（東大），栗栖 源嗣（阪大）

表 1. 年会発表分類表

1. 蛋白質	11. 分子モーター	20. 生命の起源・進化
A) 構造	12. 細胞生物的課題 (接着, 運動, 骨格, 伝達, 膜)	21. ゲノム生物学
B) 構造機能相関	13. 生体膜・人工膜	A) ゲノム解析
C) 物性 (安定性, 折れたたみなど)	A) 構造・物性	B) ゲノム構造
D) 機能 (反応機構, 生物活性など)	B) ダイナミクス	C) ゲノム機能
E) 計測・解析の方法論	C) 興奮・チャネル	22. 生命情報科学
F) 蛋白質工学/進化工学	D) 輸送	A) 構造ゲノミクス
2. ヘム蛋白質	E) 情報伝達	B) 機能ゲノミクス
3. 膜蛋白質	14. 化学受容	C) 比較ゲノミクス
4. 核酸結合蛋白質	15. 神経・感覚 (細胞・膜蛋白質・分子)	D) 分子進化
5. 核酸	16. 神経回路・脳の情報処理	23. 生態/環境
A) 構造・物性	17. 行動	24. 数理生物学
B) 相互作用・複合体	18. 光生物	25. 非平衡・生体リズム
6. 電子状態	A) 視覚・光受容	26. 計測
7. 水・水和/電解質	B) 光合成	27. バイオイメーシング
8. 分子遺伝・遺伝情報制御	C) 光遺伝学・光制御	28. バイオエンジニアリング
9. 発生・分化	19. 放射線生物/活性酸素	29. 結晶成長・結晶化技術
10. 筋肉 (筋蛋白質・収縮)		30. その他

表 2. 分野別キーワード（平成 29 年度）

A：もの | 分子から組織まで，様々な大きさ・機能をもつ研究材料

B：構造 | 蛋白質，核酸，脂質などの“かたち”を物理的に解明

C：はたらき | 生物における様々な“もの”の“はたらき”を解明

D：方法 | 生物を測定するための新たな物理的な測定手法の開発

E：概念 | 生物を理解するための，考え方・視点・理論的研究

分類	分野	分類	分野	分類	分野
A-01	DNA・結合タンパク質	A-02	RNA・結合タンパク質	A-03	核酸結合タンパク質
A-04	アクチン	A-05	オルガネラ	A-06	カルシウム結合・情報伝達タンパク質
A-07	ギャップジャンクション・ホルモン	A-08	グリア細胞	A-09	シャペロン
A-10	チャネル	A-11	バクテリアペン毛	A-12	ヘムタンパク質
A-13	モータータンパク質	A-14	レチノイドタンパク質	A-15	海馬
A-16	金属結合タンパク質	A-17	細胞骨格	A-18	粘菌
A-19	脂質膜・生体膜	A-20	リポソーム	A-21	受容体
A-22	情報伝達分子	A-23	情報調節分子	A-24	繊維状タンパク質
A-25	糖・糖鎖・糖脂質	A-26	膜タンパク質	A-27	ペプチド
A-28	糖結合タンパク質	A-29	免疫受容体	A-30	抗体
A-31	ミトコンドリア				
B-01	モチーフ・モジュール・ドメイン	B-02	タンパク質構造	B-03	核酸構造
B-04	核酸・タンパク質複合体	B-05	機能性膜合成	B-06	筋構造
B-07	生体膜の静的・動的構造	B-08	脂質膜の相転移	B-09	脂質膜低分子相互作用
B-10	水・水和・溶液	B-11	タンパク質の構造・物性	B-12	タンパク質間相互作用
B-13	タンパク質の輸送	B-14	変性・折れたたみ	B-15	安定性
B-16	誘電分散	B-17	揺らぎ・圧力・熱力学	B-18	立体構造変化・ダイナミックス
B-19	立体構造予測	B-20	NMR メタボロミクス	B-21	分子集合
C-01	ATP合成	C-02	アロステリズム	C-03	イオン透過
C-04	イオン輸送	C-05	膜輸送・膜透過	C-06	ストレス応答
C-07	意識	C-08	細胞運動	C-09	細胞形態形成
C-10	細胞間認識・接着	C-11	化学受容	C-12	感覚情報処理
C-13	記憶・学習・思考	C-14	筋収縮・制御分子機構	C-15	光合成
C-16	視覚	C-17	光受容	C-18	酵素機能
C-19	細胞内情報伝達・変換	C-20	細胞内分子輸送	C-21	神経回路・可塑性

C-22	生体エネルギー変換	C-23	生体リズム	C-24	生物発光
C-25	走性	C-26	電子移動・励起移動	C-27	発生
C-28	タンパク質合成	C-29	遺伝子発現	C-30	遺伝子複製・転写
C-31	免疫	C-32	機械受容	C-33	身体-細胞ダイナミクス関連
C-34	タンパク質の凝集	C-35	神経変性疾患		
D-01	EPR	D-02	NMR（固体）	D-03	NMR（溶液・タンパク質構造解析）
D-04	X線結晶解析	D-05	X線顕微鏡	D-06	X線溶液散乱・回折
D-07	X線繊維回折	D-08	放射光	D-09	電子顕微鏡
D-10	中性子回折・散乱	D-11	動的散乱	D-12	イメージング・画像処理
D-13	1分子イメージング	D-14	光学顕微鏡	D-15	紫外・可視・蛍光・CD
D-16	蛍光測定	D-17	赤外・ラマン	D-18	高速分光
D-19	速度論・緩和法	D-20	音波・超音波	D-21	高圧
D-22	電子状態理論・分子軌道	D-23	熱測定	D-24	表面探針顕微鏡 (STM, AFM 等)
D-25	分子計測・微小操作	D-26	分子生物学的手法	D-27	生化学的手法
D-28	生理学的手法	D-29	免疫学的手法	D-30	タンパク質精製法
D-31	発生学的手法	D-32	培養細胞	D-33	非侵襲計測
D-34	電気生理学的手法	D-35	分子動力学	D-36	理論・シミュレーション
D-37	粗視化シミュレーション	D-38	光回折・光散乱	D-39	タンパク質結晶化法
D-40	蛍光顕微鏡	D-41	顕微鏡プローブ	D-42	シーケンシング
D-43	MRI	D-44	超解像イメージング		
E-01	非線形・カオス・複雑系	E-02	非平衡・自己組織化	E-03	数理モデル・数理生物学
E-04	タンパク質工学	E-05	タンパク質設計・ドラッグデザイン	E-06	遺伝子操作・工学
E-07	抗体工学	E-08	構造ゲノム科学	E-09	機能ゲノム科学
E-10	バイオインフォマティクス	E-11	進化分子工学	E-12	ゲノム・データベース
E-13	ゲノム解析	E-14	バイオエレクトロニクス	E-15	バイオセンサー
E-16	生命の起源	E-17	分子進化・タンパク質進化	E-18	放射線生物学
E-19	医用生体工学	E-20	細胞工学	E-21	生命現象の基本原理
E-22	タンパク質品質管理	E-23	生命体システム情報学	E-24	構造生命情報科学
E-25	DNA コンピューティング	E-26	人工生体分子システム	E-27	合成生物学
E-28	構造創薬	E-29	生命情報工学		